



# 図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

## TOPICS



### 1. 建築学関係の貴重な資料の寄贈をいただきました

雑誌 15 タイトル：1,023 冊、図書 11 冊の寄贈を受け、図書館資料として受け入れました。現在購読中の「新建築」「住宅建築」「DOMUS」「GA JAPAN」「JA」などのバックナンバーや、既に廃刊となっている「建築文化」「SD：スペースデザイン」など、入手困難な貴重な資料をご寄贈頂き、図書館所蔵資料として整備し提供しています。雑誌は、北閲覧室の製本雑誌架にタイトル順に並べられていますので、教育・研究資料として学生や教職員の皆さまに広く利用していただけたいと思います。

ご寄贈いただきました関係者の皆さまに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

### 2. 電子ブック 21 冊を新規購入しました

「KinoDen 電子ブック」が提供する約 35,000 タイトルの全文試読サービスを 7 月から 8 月末までの 2 か月間実施しました。その間に利用されたタイトルや教科書指定図書、よく利用される分野の資料や参考図書などを選定し受け入れました。2021 年 10 月現在、電子ブックは 275 タイトル（英語多読図書含む）が利用できます。

- 📌 「自動制御理論」
- 📌 「生物有機化学」
- 📌 「図説 建築材料」
- 📌 「電子デバイス工学」
- 📌 「情報数学の基礎 (第2版)」
- 📌 「機械力学ハンドブック」
- 📌 「いちばんやさしい憲法入門」
- 📌 「プレゼンテーション入門」

ほか

\* 学外からの利用方法は [iLearn > 図書館 > 自宅から利用できる図書館サービス](#) に掲載  
教職員は“学認 (GakuNin)”を利用してアクセス可能です

### 3. 蔵書点検を実施しました

8 月 4 日から 9 月 10 日にかけて 3 年に 1 度の蔵書点検を実施しました。

図書館で所蔵している資料約 13 万 5 千冊の現物確認と、正しく配架されているか所在と並び順を確認する作業です。資料に貼付してあるバーコードを 1 冊 1 冊ハンディターミナルで読み込んでいき、所蔵データとの照合を行います。不明となった資料は館内をくまなく探し、所在誤りや書架の並び順誤りは正しい場所に戻しました。点検の結果、16 冊が不明となっていることを確認しました。不明資料については、今後も調査を継続するとともに、蔵書管理に一層努めてまいります。真夏の点検作業は大変ですが、図書館職員 4 名と学生アルバイト 1 名にもお手伝い頂き、無事に終えることができました。休館等でご不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。



### 4. 「SIST 読書感想文大賞」感想文募集中

まだまだ続くコロナ禍。自宅で過ごす時間をちょっと利用して気分転換に読書をしてみませんか。心に感じるものがあったら、更に挑戦してそれを文章にしてみてもはどうでしょうか。既に読みたい本がある方はその本を、何を读もうか迷っている方は、図書館職員オススメ本の中から選んでみてください。

応募締切：2021 年 11 月 9 日

応募方法等の詳細は図書館ホームページや館内・学内掲示物でご確認ください。  
出場者全員に参加賞、成績上位者には表彰があります。是非応募してみてください！

この記事はブログ  
に掲載しています



[図書館ホームページ](#)  
> Activity 活動状況



## 読書への羅針盤

本良 瑞樹 先生(電気電子工学科) に聞く

### 「真実に向き合う力／見抜く力」

今回の読書への羅針盤は、電気電子工学科の本良瑞樹先生の研究室を訪ねお話を伺いました。

本良先生は無線通信に関する分野を専門に研究されています。特に、携帯電話などに使用されている集積回路が専門だそうです。

先生は、小学生の頃に家族旅行で宮崎県に行った際、リニアモーターカーの実験施設を見学したことがきっかけで、将来は工学分野を目指そうと考えたそうです。その後、大学生になり回路の分野に興味を持ち現在の分野に進まれたそうです。

先生は、小学生の頃から剣道をされていて現在では4段だそうです。また、中学時代は物理部にも所属しており、顧問の先生が液体窒素と超電導磁石を使用し、リニアモーターカーの原理を説明してくれた時の話をしてくださいました。そのときの影響もあって、理論よりも実験の方が好きなんだそうです。

先生が本学に着任された際、学生に対し、真面目で先生との距離が近いという印象を持ったそうです。これについては、質問に来る学生が多く、しっかりやろうとする人がいる為ではないかと分析されていました。

そんな学生におすすめしたい本を伺ったところ、「論文捏造」という本を紹介してくださいました。この本は、ベル研究所に所属していた研究員に起こった論文捏造の検証についてのノンフィクション作品です。論文捏造とそれにより追実

験を行った多くの人が巻き込まれた一大事件です。先生がこの本を薦めたのは、成果を出さなければならない状況下で、論文の捏造はやってしまう気持ちも分からなくもないが、絶対にやってはいけないことであるという倫理観を学生に持つてほしいという思いがあるからだそうです。

論文を書く際、「こういう風になるはず」と考えて書くと、真なるデータに目を瞑りそう書いてしまう。そうすると捏造になってしまう。しかし、結果が思っていたものと違っても、“なぜか”を考え結果に向き合えば論文捏造は起こらないので、論文を書く際にはそのことを心の片隅に置いておいてほしいそうです。“なぜか”を考えるためには多くの知識が必要ですが、今の時代、様々な情報を手に入れやすい状況にあります。それらの情報を見極める力をつける為にもこの本を読んでほしいそうです。

最後に、本学の学生へのメッセージをお伺いしました。

「是非、よく遊んでよく学んで欲しい。どちらかという、学ぶよりも遊んで欲しい。勉強だけじゃなくいろいろな価値観、いろいろなものに触れて情報を取捨選択する目を養ってほしい。」

本良先生、お忙しい中インタビューをお受け頂き有難うございました。

【所在】 「論文捏造」 西閲覧室 407/Mu48

インタビュー・記事：電気電子工学科2年 伊藤大登

## 私の選んだ一冊

『だれの息子でもない』 神林長平 著

ネット空間に限りなく人の意識に近い人工人格(アバター)を作り、現実の自分に変わりネット上での作業を代行させている近未来の日本。現実とネットの境界が曖昧になり、自分とアバターどちらの意識なのか分からなくなったとき、人は何を根拠に自己を特定するのか？記憶の積み重ねによって確立された人の意識と、記録の蓄積によって確立された人工の意識、両者の違いは何であるのか？著者の突きつける現実の脆さを読者は認めざるを得ない。

電気電子工学科4年 石橋大寛

『羊と鋼の森』 宮下奈都 著

主人公の外村は高校生の頃に出会ったピアノの調律師である板鳥の調律に魅せられ、調律師として働き始める。正解のない調律という森に入り込んだ外村は、自身の未熟さに打ちひしがれながらも様々な人との関わりから学び、美しい音を追求する。その真摯に音に向きあう様子からは、静かながらも決して冷めることのない調律への情熱が感じられる。主人公の成長を描くこの物語は、これから何かに挑戦し、熱中していく人々にぜひ読んでいただきたい。

建築学科3年 内藤魁人



## 推薦図書

## 『オイディプス王』 ソポクレス 著 (岩波文庫ほか)

オイディプス王は、紹介するにはあまりにも有名で、解説するにはあまりにも奥ゆかしい作品であるので、この本を読んで感じ取ってほしいことを述べるに留めさせていただく。結論から言えば、この本で感じ取ってほしいことは「価値観の普遍性」である。

人の価値観というものは、時代とともに変化しており、例えば、グローバル化、ネットワーク社会による価値観の変化や、コロナ禍における新たな価値観の強制的な受容が良い例だろう。このように文化的価値観はわずか数年～数十年で大きく変わってしまう…かのように見える。確かに、小さな事例を挙げるときりがないが、本質的な部分はどうかののだろうか。

オイディプス王は紀元前 430 年、古代ギリシアのソポクレスの描いた悲劇とされている。2400 年も前の戯曲が現代にまで受け継がれていることになる。その理由はソポクレスの描いた「悲哀」が当時のギリシア人にも、現代人にも共感できる普遍的なものであったからに他ならない。それはこの物語の悲劇性が、アテナイの禁忌とされている行為であり、それが現代における禁忌でもあるからである。物語の中でオイディプスは、知らず知らずのうちに犯した大罪を後悔するが悔いきれず、自ら眼を塞ぎ乞食に身を襲す。彼の者は、実の父を

殺害し、王位を篡奪した後にその妃、即ち母を娶る。オイディプスが犯した罪を考えれば、胸中は察するに余りある。だが重要なことは、古代ギリシア人が、忌避し、恐れ、そして心のどこかで望んでいたかもしれない感情を、現代人の我々も持ち合わせているということではないだろうか。

精神分析学の祖であるフロイトは、男根期における父親への反抗心と母親を手に入れようとする近親相姦的欲望を、この物語に因んでエディプスコンプレックスと名付けているわけだが、紀元前 430 年には戯曲という形で表現されたこの感情は、知ってか知らずか、人間の持つ 1 側面の本質をとらえていた。

この本を手に取り、人類を俯瞰して考え、古代ギリシア人との共感を果たした時、読者にとってこの本はある種のタイムマシーンとなる。既にこの作品を読んだという学生も、新たな視点をもって読み直してほしい。(余裕があるならアンティゴネーとコロノスのオイディプスも。)

## 【所在】

文庫/北 991.2 /So53 (光文社古典新訳文庫)

『アンティゴネー』『コロノスのオイディプス』収録  
『ギリシア・ローマ劇集 (筑摩世界文学大系 ; 4)』  
西閲覧室 908 /C44

## 新着図書紹介

そのほかの新刊情報は▶[図書館 Web サイト](#)>[蔵書検索](#)>[カテゴリ検索](#)>[新着リスト](#)

メッセージ…トーベ・ヤンソン自選短篇集  
トーベ・ヤンソン著 / 久山葉子訳,  
フィルムアート社

国語をめぐる冒険 (岩波ジュニア新書)  
渡部泰明ほか 著, 岩波書店

アニメ建築…傑作背景美術の制作プロセス  
シユテファン・リーケルス著 / 和田侑子訳,  
グラフィック社

スタイルのあるブランディングデザイン  
ターゲットの心を掴む、バイインターナショナル

空間五感…世界の建築・都市デザイン  
日本建築学会編, 井上書院

凶解・天気予報入門  
ゲリラ豪雨や巨大台風をどう予測するのか  
(ブルーバックス) 古川武彦, 大木勇人著, 講談社

SDGs がひらくビジネス新時代  
(ちくま新書),  
竹下隆一郎著, 筑摩書房

日本列島四万年のディープヒストリー  
先史考古学からみた現代 (朝日選書),  
森先一貴著, 朝日新聞出版

人工知能の可能性  
機械は人間と同じ思考力を持てるのか,  
ブライアン・キャントウエル・スミス著 / 檜垣裕  
美訳, ニュートンプレス

世界書店紀行  
金彦編著 / 山田智子, 宗実麻美,  
水谷幸恵共訳, 出版メディア・パル



らいぶらりあん

「らいぶらりあんの仕事」

副図書館長 友次克子

インターネットも電子ジャーナルもなかった時代、読みたい論文を手に入れるには時間も手間も必要だった。雑誌が発行されて図書館に配架される時には、書かれたときから何年か経過している、というのが普通だった。研究会で配られる資料の参考文献にはmsがよくあがっていた。印刷前の「原稿」という意味で、一番新しい考えがまつた論文だ。著名な研究者のmsは、大学院生にとってはほしくてたまらな

開放されていた。図書館に行ってそのとき探していた論文集について尋ねると、図書の貸借とは別のコーナーに案内された。そこで司書の方はタイトルを見ると、巨大な端末をしばらく操作して、その論文集を全米のどこの図書館が持っているかを示してくれた。現物を手にすることはできなかったが、データベース検索を初めて見る機会になった。そればかりか司書の方から、同じテーマには他にどのような文献があるのかも教えてもらった。司書はどの分野についても資料や情報のありかを素早く提供する仕事であることに気づいた。

ジャーナルも利用できる。恵まれている一方で、膨大な情報から自分が必要としているものを探し当てるのは簡単ではないだろう。アメリカの司書が気づかせてくれたもう一つの話は、外国人学生が何を必死に探しているのかを察知してくれたコミニケーション力だった。本学でも図書館のカウンターにいる方は本の貸借手続きをする人だと思っている学生が多いようだ。司書は検索のプロだから、文献の探し方やテーマの見つけ方を相談しに図書館を訪れてほしい。コンピュータスキルだけでは得られない情報のありかを、司書という人との対話から得る機会になると思う。

いものだったから、持っている方に手紙を書いてコピーを郵送していただいた。コピーを繰り返した原稿のフォントはつぶれていても切れていても読めていた。面識のない大学の先生に文献をお願いしたときには、「私も院生のときには論文を入手するのに苦労しましたから」と自費で送ってください、励ましの言葉もいただいて感謝したこともあった。

「onlineの本当の仕事を知ったのは、そんな時代（1990年頃）のアメリカの大学図書館のことだった。夏の4週間だけ滞在する短期の学生にも学内の設備は



## LIBRARY CALENDAR



開館時間： ■ 9:00~18:00 ■ 9:00~20:00 ■ 9:00~16:00

休館日： ■

10月							11月							12月							2022年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	2	・	1	2	3	4	5	6	・	・	・	1	2	3	4	・	・	・	・	・	・	1
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	・	23	24	25	26	27	28	29
31	・	・	・	・	・	・								・	・	・	・	・	・	・	30	31	・	・	・	・	・

- 【休館】10月22日(金)/25日(月)は大学祭準備のため、10月28日(木)は法人創立80周年記念式典のため休館
- 11月3日、23日(祝)は授業日につき開館 9:00~18:00
- 10月23日(土)は大学祭につき開館 13:00~17:00
- 12月25日(土)~2022年1月5日(水)は冬期休業のため休館
- 2022年1月31日の開館時間 9:00~18:00
- 2022年1月29日(土)は試験期間につき開館 9:00~16:00

※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】東京オリンピック・パラリンピックに沸いた夏。図書館では3年に一度の大仕事である蔵書点検を実施し、暑さや埃と闘う夏でもありました。整った書架で夏休み明けの学生たちを迎えられるのは、清々しいものです。